

改革 2020WG への期待

: 「ならでは」の課題要件とその具体例

2014年11月28日

ボストン・コンサルティング・グループ

日本代表 御立尚資

1. レガシー、レバレッジ、アクセレレータ
 - a. レガシー： 未来から振り返って「あの時のおかげ」となるもの
 - ロス五輪('84)「収益化」、ロンドン五輪('12)「オリンピック後」
 - 2014年と2070年（オリンピックから50年後）の視点（為未さん）
 - 新幹線、都市ホテル、警備ビジネス
 - 「産業ができた」「インフラが変わった」「流れが変わった」

b. レバレッジ： 合意形成の容易さを使った「変革のてこ」

- 締切効果、「国家的行事」としての大義名分
- 省庁間、企業間、官民間の連携・協力が必要な政策課題

c. アクセレータ

- 日本再興戦略に取り上げられている政策の実現加速化 >
各省政策のホッチキス留め、小粒の新政策のひねり出し

2. 「旗を立てる」 x 「オールジャパン」

a. 民間の資金と知恵の誘導効果、本気度を示す

- LCC、空港民活（コンセッション）

b. ビヨンド東京

- ジャパンオリンピックとするための地域的拡がり作り、国家戦略特区の活用も
- 例：関空コンセッション+インテグレートドリゾート+インバウンド対象のヘルスケアサービス集積
- 例：福岡の起業適地化促進+ベンチャー立ち上げビザ特例

- 例：岡山での地域内病院間連携・棲み分け支援（非営利ホールディング）＋医療・介護・在宅ケア連携（異種法人格間での経営統合）＋地域完結型医療保険試行
- 例：「海の京都（京都府北部）」でのコンパクトシティ化促進＋部分的遠隔医療解禁＋地域交通（バス）の広域民間委託